

平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の取組予定

資料3

基本方針	施策体系	施策メニューと令和8年度の取組予定
(1) まちづくり と広域連携 を支える公 共交通体系 の整備	① 鉄道の利 便性向上 の促進	<p>＜既存路線の利便性向上の促進＞ 平塚駅ホームドア設置に向けた調整を実施</p> <p>＜既存路線の利便性向上の促進＞ ＜鉄道駅の新設・延伸の促進＞ 令和7年度回答結果を踏まえ、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に要望を提出予定</p>
	② バスの公 共交通軸 の整備・ 強化	<p>＜幹線バスの整備・強化＞ ＜走行環境の向上＞ 持続可能なモビリティサービスの実現に向けた路線網再編や輸送効率化等について、必要に応じて検討する。また、利用促進に係る広報等を実施する。</p> <p>＜南北都市軸の新公共交通システムの整備＞ ○幹線バス(連節バス)の導入 需要の高まりがみられる場合は、導入検討を行う。</p>
(2) 公共交通の 利用が不便 な地域への 対応	① 地域内交 通の整備	<p>＜既存路線バスの確保・維持、改善＞ ○路線バスへの自動運転技術の導入 平塚駅南口エリアにて自動運転バス実証実験を継続し、令和9年度を目指して、大型路線バスによる自動運転レベル4認可に向けた調整等を実施する。 ○平塚駅南口駅前ロータリー改修に向けた関係者協議の実施 平塚駅南口駅前ロータリーのバリアフリー化、自動運転バス対応化に向けた関係者協議を実施し、設計を進める。</p>
		<p>＜路線バス以外の地域内移動手段の確保＞ ○岡崎地区の交通課題に関する協議 岡崎地区コミュニティ交通企画委員会を母体とした地元運営組織及び運行事業者と連携し、岡崎地区と岡崎地区外の大型商業施設及び岡崎地区内の商業施設・公共施設等を結ぶコミュニティタクシーの運行(実証実験)を目指し、平塚市立地適正化計画におけるふじみ野・岡崎公民館周辺の将来の姿「高低差のある住宅地の移動や買い物利便性を支える拠点」実現の一助とする。 ○神奈川大学移転関連 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス跡地利用の動向を注視しながら、土沢地区の自治会と路線バスの利用状況、今後の在り方及び地域内交通等について意見交換(四半期に一回程度)。 ○平塚市コミュニティバス betWEen liner(ビトゥーンライナー)の運行 令和7年12月1日から運行を開始した平塚市コミュニティバス betWEen liner(ビトゥーンライナー)の利用状況を把握とともに、利用促進のため周知活動等を実施する。</p>

平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の取組予定

基本方針	施策体系	施策メニューと令和8年度の取組予定
(2)公共交通の利用が不便な地域への対応	(参考)	◇地域内移送の実施 須賀新田地区(松原地区)、土屋地区、旭南地区
(3) 誰もが利用しやすい公共交通環境の整備	① バリアフリー化の推進	<交通施設等のバリアフリー化> <新規車両の導入> ・ノンステップバス(EV車両):4両導入予定 ・ユニバーサルデザインタクシー:7台導入予定 (※導入予定数については、令和8年度第1回バリアフリー推進協議会にて事業計画が提示される予定)
	② 交通結節点の整備	<バス停の待合環境の改善> ・市内バス停の上屋整備に向けて、バス事業者及び広告事業者と連携・協議を行う。 ・引き続き公共用地等を活用し、適地へバス待ちスポットを開設する。 <サイクル＆ライド施設の整備> 土屋橋バス停付近へサイクル＆バスライド開設に向けた取り組みを進める。
(4) 自家用車依存からの転換と公共交通の利用促進	① 利用促進事業	<情報提供の強化> <公共交通利用への意識啓発> ・公共交通の利用促進に向けたチラシ等を作成 ・公共交通の利用促進に向けたイベント等を開催 <地域内移動の利便性向上> <利用者インセンティブの付与> 必要に応じて運行事業者等と協議

このほか、平塚市総合交通計画、平塚市地域公共交通網形成計画、平塚市自転車活用推進計画の改定に向けた作業、関係者との意見交換を進めます。